学校番号	402

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選現代文Ｂ　改訂版　（筑摩書房）						
副教材等	「意味から習得　音訓別　重要頻出漢字リアルマスター3300」（尚文出版） 「新総合図説国語　新訂版」（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生で身につけた国語力を発展させ、入試のためだけでなく人間としての教養を深めよう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く」能力や、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけよう。
・教えられたことを覚えるのではなく、自分で問題を提起し、考える習慣をつけよう。
・漢字の意味・用法を考え、また良書を読んで語彙力をつけよう。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切かつ効果的に思いや考えを表現することができる。
・論理的な文章を読んで、内容や構成を的確に理解し、歴史上のできごとや現代社会で起こっている様々な事象とリンクさせて考えることができる。
・文学的な文章を読んで、場面を的確に想起し、登場人物の心情を理解することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力・豊かな想像力を場面に応じて活用して、的確に自分の意見を表現することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く技能	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察	行動の観察 発表等のパフォーマンスの評価	行動の観察 記述の確認及び分析	行動の観察 定期考査	行動の観察 記述の確認 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	評論一・二・三	「情報の彫刻」 「実体の美と状況の美」 「物語るという欲望」 「文学の仕事」	○			◎	○	a:文章構成や内容に関心を持ち、的確に捉えようとしている。 d:文章の内容や表現について筋道をたてて考えることができる。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:行動の観察、授業中の発表や記述の確認、定期考査 e:定期考査・小テスト
	小説一・二	「山月記」 「水かまきり」	○			◎	○	a:文章構成や内容に関心を持ち、的確に捉えようとしている。 d:文章の内容や表現について筋道をたてて考えることができる。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:行動の観察、授業中の発表や記述の確認、定期考査 e:定期考査・小テスト
	詩歌	「永訣の朝」 「I was born」 短歌(正岡子規など)	○	○	◎			a:詩歌の構成や内容に関心を持ち、的確イメージしように捉えようとしている。 b:詩歌の内容について自分の意見を発表し、他者と意見交換ができる。 c:短歌の実作	a:行動の観察 b:鑑賞文の相互批評 c:作品提出
後期	評論四・五・六	「ファンタジーワールドの誕生」 「絵画の二十世紀」 「『である』ことと『する』こと」	○			◎	○	a:文章構成や内容に関心を持ち、的確に捉えようとしている。 d:文章の内容や表現について筋道をたてて考えることができる。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:行動の観察、授業中の発表や記述の確認、定期考査 e:定期考査・小テスト
	小説三	「こころ」	○			◎	○	a:文章構成や内容に関心を持ち、的確に捉えようとしている。 d:文章の内容や表現について筋道をたてて考えることができる。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:行動の観察、授業中の発表や記述の確認、定期考査 e:定期考査・小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
　　c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。